

平成28年度秋田市決算

問い合わせ 財政課 ☎(888)5466

適切な 財政運営に 努めました

一般会計は約15億円の黒字

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。平成28年度は、歳入から歳出を差し引いた16億4千833万3千円から、平成29年度に繰り越した事業の財源となる1億9千533万9千円を除いた、14億5千299万4千円(前年度比0.2%増)の黒字になりました。

歳入では、臨時福祉給付金給付事業費補助金の増加などにより、国庫支出金が1億1千687万5千円増えました。また、新庁舎建設事業のうち本庁舎の完成などにより、市債が32億4千630万円減少しました。

歳出では、除排雪関係経費や土地区画整理会計繰出金の増加などにより、土木費が34億4千814万8千円増えました。また、平成27年度に実施したプレミアム付き商品券発行事業の終了などにより、商工費が9億4千49万8千円減りました。

一般会計決算額と歳入・歳出の内訳

歳入▶1,341億4,441万1千円 (前年度比50億4,091万2千円減)

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
市税	433億9,146万4千円(32.3%)	△2億1,371万3千円
国庫支出金	216億3,596万2千円(16.1%)	11億1,687万5千円
地方交付税	211億8,508万9千円(15.8%)	△10億9,445万8千円
市債	112億8,930万 円(8.4%)	△32億4,630万 円
県支出金	82億6,217万6千円(6.2%)	△3億2,228万2千円
地方譲与税・交付金	74億6,662万3千円(5.6%)	△6億9,662万9千円
繰入金	73億1,432万9千円(5.5%)	△1億2,960万7千円
その他(諸収入、使用料など)	135億9,946万8千円(10.1%)	△4億5,479万8千円

歳出▶1,324億9,607万8千円 (前年度比47億8,697万4千円減)

【目的別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
民生費	488億3,829万5千円(36.9%)	29億1,000万7千円
総務費	193億4,984万1千円(14.6%)	△66億 903万3千円
土木費	169億4,723万1千円(12.8%)	34億4,814万8千円
公債費	138億7,197万2千円(10.5%)	△11億5,526万4千円
教育費	108億1,377万8千円(8.2%)	△4億2,437万4千円
衛生費	83億6,719万7千円(6.3%)	△9億2,536万5千円
その他(商工費、消防費など)	143億 776万4千円(10.7%)	△20億3,109万3千円

【性質別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
扶助費	337億5,967万6千円(25.5%)	24億2,752万8千円
人件費	211億2,626万4千円(15.9%)	△4億9,876万8千円
物件費・維持補修費	173億6,594万1千円(13.1%)	13億7,116万1千円
公債費	138億7,197万2千円(10.5%)	△11億5,526万4千円
補助費等	135億7,945万7千円(10.2%)	△5億6,010万3千円
投資的経費	125億4,273万1千円(9.4%)	△82億8,219万8千円
繰出金	97億5,193万8千円(7.4%)	10億 785万 円
その他(貸付金、積立金など)	104億9,809万9千円(8.0%)	9億 282万 円

*項目を合算して掲載しているため、一部構成比が一致しない場合があります。

事業ふり返り



新庁舎が開庁



食と芸能大祭典2016



日本女性会議2016秋田



子ども健康課にネウボラを開設



消防総合通信指令システムの更新



指標で見る 秋田市の財政

自治体の財政の健全性を示す指標に、秋田市の平成28年度決算の数値を照らしてみました。

* ()内は前年度の数値。

実質収支比率▶2.3%(2.3%)

財政運営の健全性を判断する指標。おおむね3~5%程度が望ましいとされています

財政力指数▶0.659(0.646)

財政力を判断する指標。数値が「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えると財政的に余裕があるといえます

経常収支比率▶91.4%(89.1%)

財政構造の弾力性を判断する指標。80%を超えると、硬直化(ゆとりがない)傾向といえます

経常一般財源比率▶97.8%(99.4%)

歳入構造の安定性を判断する指標。100%を超えるほど、一般財源に余裕があり、歳入構造に弾力性があるといえます

義務的経費比率▶51.1%(49.0%)

法令やその性質により支出が義務づけられている人件費・扶助費・公債費が歳出総額に占める割合。この比率が高いほど、財政構造が硬直化しているといえます

公債費負担比率▶16.2%(17.4%)

一般財源総額のうち公債費に充てられた一般財源の割合。15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされています

実質公債費比率▶10.6%(11.5%)

公債費に充当された一般財源の額が標準財政規模(経常的な一般財源の標準規模)に占める割合。国が示す基準値(18%)を超えると、市債の発行が制限されます

特別会計のおもな内容

- 土地区画整理会計
秋田駅東地区などの整備
- 市有林会計
市有林(約2千ヘクタール)の管理
- 市営墓地会計
4か所ある市営墓地の管理
- 廃棄物発電会計
総合環境センターの廃棄物発電で生じた余剰電力を、電気事業者へ売却
- 国民健康保険事業会計
国保税の徴収、保険給付など

特別会計は約24億円の黒字
特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため一般会計と区別している会計です。全体では、平成28年度の歳入決算額から歳出決算額を差し引いた24億1千622万2千円の黒字となりました。

特別会計決算

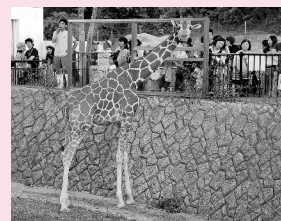
	歳入決算額	歳出決算額
特別会計	749億2,939万4千円	725億1,317万2千円
土地区画整理会計	31億 761万4千円	30億1,541万6千円
市有林会計	1億4,180万9千円	1億3,023万2千円
市営墓地会計	1億3,839万4千円	1億3,404万2千円
中央卸売市場会計	9,730万 円	9,611万4千円
公設地方卸売市場会計	4億1,596万 円	4億1,250万2千円
大森山動物園会計	4億9,495万6千円	4億9,495万5千円
廃棄物発電会計	3億 841万7千円	3億 841万6千円
病院事業債管理会計	7億1,076万4千円	7億1,076万4千円
国民健康保険事業会計	363億4,465万7千円	352億4,575万7千円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億9,365万9千円	7,164万2千円
介護保険事業会計	297億1,122万9千円	286億5,273万1千円
後期高齢者医療事業会計	32億6,463万5千円	32億4,060万1千円



平和公園



総合環境センター



大森山動物園

■ 「市債」とは、学校や道路などを整備するために国や金融機関などから借りるお金のことです。平成28年度末の市債残高(特別会計含む)は約1,447億円で、前年度から約22億円減少しました。

■ 秋田市では「一般会計」「特別会計」のほかに「企業会計」があります。企業会計は、上下水道局の水道・下水道・農業集落排水事業です。上下水道局の決算は、昨年(2016年)の広報あきた12月1日号に掲載しています。

秋田市の決算資料は、財政課ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.city.akita.akita.jp/city/fn/mn/>